

サステナビリティ経営高度化に向けたDX導入サービス（例）

日本総研では、サステナビリティ経営へのDX導入/強化に向けて
「現状把握」「計画策定」「基盤整備・報告実施」の3フェーズに分けたご支援を提供。

1 現状把握

- ① 法令・ガイドライン（最新版）情報収集・アップデート
※特に、対象や適用範囲等に関する適切な理解が重要。
- ② 要請事項と、自社の現状との間のギャップ分析
- ③ 今後の方向性に関する整理

2 計画策定

- ① グループ会社・ホールディングス担当部署間での役割確認
 - ② 収集すべき情報・指標の種類に関する整理
 - ③ 業務スケジュールの設計
- ※上記の前段として、「マテリアリティの特定・評価」「目標設定」を改めて行うケースも有り。

3 基盤整備 ・報告実施

- ① （「計画策定」段階で整理した情報・指標に関し）収集/集計範囲等の確定
- ② システムの設計/選定
- ③ システムで一括管理が難しい情報・指標の集計・マネジメント方法の検討
- ④ 報告/開示の実施